

尊厳死宣誓書

私は、私の傷病が不治であり、かつ死が迫っていたり、生命維持措置無しでは生存できない状態に陥った場合に備えて、私の家族、縁者ならびに私の医療に携わっている方々に次の要望をします。

この宣言書は、私の精神が健全な状態にある時に書いたものです。したがって、私の精神が健全な状態にある時に私自身が破棄するか、または撤回する旨の文書を作成しない限り有効です。

医師が、私の傷病を、現代の医学では不治の状態であり、既に死が迫っていると診断した場合は、ただ単に死期を引き延ばすためだけの延命措置は遠慮します。

ただし、こうした時、私の苦痛を和らげるために、以下にチェックの医療手段による十分な緩和医療を希望します。私が自ら判断できない状態に陥った場合、認知症と判断された場合には、連れ合いと子供たちに判断させてください。

点滴	昇圧剤や強心剤の投与
喀痰吸引	抗がん剤の投与
中心精脈栄養	経管栄養
胃瘻造設	輸血
気道確保	気管切開
気管切開	気管切開
人工透析	心マッサージ

私が回復不能な遷延性意識障害(持続的植物状態)に陥った場合、生命維持措置を停止することを強く希望します。

以上、私の宣言による要望を忠実に果たしてくださった方々に深く感謝申し上げますとともに、その方々が私の要望に従ってくださった行為一切の責任は私自身にあることを附記いたします。

平成 年 月 日

フリガナ _____

氏 名 _____

____年__月__日__生

住 所 _____